

アイカラングベンチレータCLV-50の長期連続使用（778日間）経験

当該患者は42才、男性、平成元年2月18日交通事故にて脳挫傷、第1、2頸椎脱臼で第1頸神経以下の完全麻痺のため、意識障害、四肢麻痺、呼吸麻痺ありICUにて呼吸及び全身管理を開始。当所ICUではCV-3000によるCMVモードで呼吸をサポートした。

脳挫傷による意識障害も軽快したので、同年3月2日、同ベンチレータのまま脳外科病棟へ転床、3月9日には成型外科病棟へ。同病棟では圧縮空気の配管がないので、コンプレッサー付の人工呼吸器MA-2を使用していた。

重症4入室のためMA-2の作動音に対して苦情が多く、当時たまたまデモとして借り入れていたCLV-50を装着したところ、まず、第一にこの騒音の問題が解決。次いでICUと違い一般病棟では、ベンチレータの取扱いやメンテナンスは通常ナースに依存することが多いので、これらの容易さからも歓迎された。ICU以外の病棟での使用に供する人工呼吸器として後記する数多くの利点から第1候補となった本器を購入、従って平成元年11月30日より4年1月8日他施設へ転医するまで図らずも778日間、18,687時間の長期連続使用となった。もちろんこの間機器の機械的トラブルは発生せず、患者は2、3度気道感染を起こしたが大事にいたらず軽快できた。

本人工呼吸器についても当然ながらメーカーサイドからは一定使用時間ごとの保守点検を受けるようになっていましたが、上記の経過で機器を交換することなく長期間使用した結果逆に本機器の耐久性が立証された。最近登場する人工呼吸器は諸種の多機能を具備しているが、とりもなおさず生命維持装置であるからその駆動部や各種バルブ類の耐久性、堅牢性に於いてユーザーの信頼を得るべきである。

本機器の有用性を列举すると

- ①ICU以外の病棟などで使用する人工呼吸器としても最良の機器の1つである。
- ②駆動源として圧縮空気を必要としない。
- ③作動音が極めて静粛。
- ④操作が容易で専門医が常駐していない病棟でも使用しやすい。
- ⑤初期設定がスイッチ・オンで可、即緊急作動。
- ⑥比較的安価。

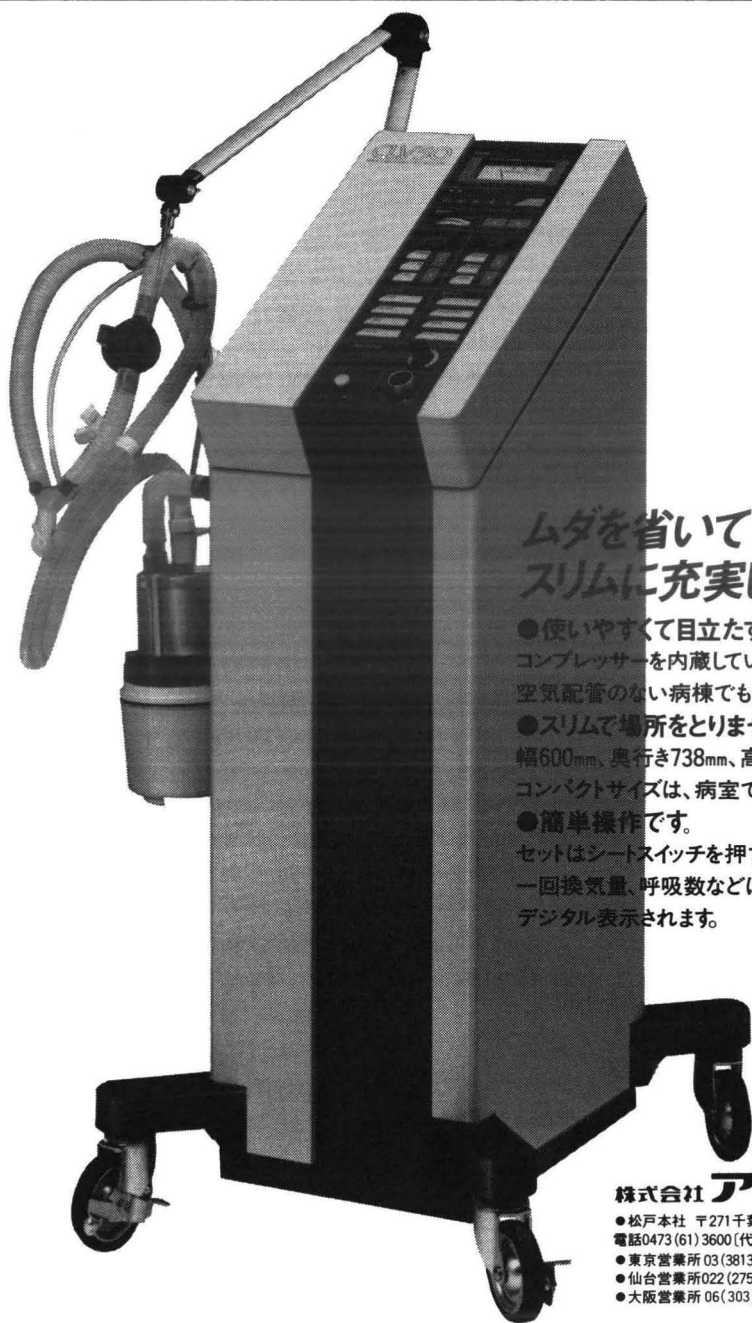
もちろんメーカー側が本CLV50は主として小児から成人までの呼吸不全や術後の患者の呼吸管理に使用する総合呼吸管理ユニットであると概説しているように、主モードにCMV（調節呼吸）、ASSIST（補助呼吸）SIMV（同期式間歇強制換気）、FLOW（定常流酸素療法）副モードにプレッシャー・サイクル、PEEP/CPAP、深呼吸（SIGH）、プラトー（EIP）などの諸機能を有し汎用性の高い人工呼吸器である。

済生会宇都宮病院麻酔科 須藤 至

aika

Ventilator CLV50

アイカ ラングベンチレータ CLV50



ムダを省いて
スリムに充実しました。

●使いやすく目立たず、しかも静かです。
コンプレッサーを内蔵しているので、
空気配管のない病棟でも使用可能です。

●スリムで場所をとりません。
幅600mm、奥行き738mm、高さ1145mmの
コンパクトサイズは、病室でも邪魔になりません。

●簡単操作です。
セットはシートスイッチを押すだけ。とても簡単です。
一回換気量、呼吸数などは、わかりやすく
デジタル表示されます。

株式会社 **アイカ**

●松戸本社 〒271 千葉県松戸市上本郷88
電話0473 (61) 3600〔代表〕 FAX.0473 (61) 3642
●東京営業所 03 (3813) 4781 ●札幌営業所 011 (757) 3722
●仙台営業所 022 (275) 4250 ●名古屋営業所 052 (721) 2271
●大阪営業所 06 (303) 6555 ●福岡営業所 092 (473) 8707